

施策評価シート(平成31年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0401	政策名	地域主体のまちづくり	施策主管課	地域づくり課	課長名	菊池 司
政策の目指す姿	個性あふれる地域づくりが活発に行われています						
施策No	01	施策名	地域づくりへの参加促進	関係課名	定住推進課、大迫・石鳥谷・東和地域振興課		
施策の目指す姿	老若男女多くの住民が地域づくりに参加しています						
現状と課題							
<ul style="list-style-type: none"> ・「市民の自主的な活動」の場である振興センターは、市民の自主的な地域活動やサークル活動による利用が増えています。 ・振興センターや自治公民館の老朽化が進んでいます。 ・本市の人口は、平成12年をピークに減少傾向に転じており、転出超過が続いています。 ・移住先としての「花巻市」の認知度が低い状況です。 							

前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の拠点である振興センターについて、利用者の安全確保と利便性の向上を図るため、公共施設マネジメント計画に基づき、適切な施設管理を行っていく。 ・「まきまき花巻」の運営については、引き続き専門講座の開設によるライターのスキルアップを進めるとともに、地域おこし協力隊員を同サイトの専属のリーダーとして担当させ、内容の充実を図っていく。 ・岩手県内を対象として活動する「いきいき岩手結婚サポートセンター」の情報を市民に広く周知するなど、広域的活動の支援を進める。また、同団体の活動のフォローアップ等を、はなまき婚シェルの活動として展開していく。
反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・振興センターの機能の充実及び安全性を確保するため、緊急性の高い施設から整備を実施した。施設の老朽化が進んでいることから、引き続き利便性及び安全性を確保し、長寿命化を図り施設利用の促進につなげていく。 ・「まきまき花巻」の運営については、市民ライターを対象とした講座を開催し、スキルアップを図るとともに、ライター数や記事数の増加に努めた。 ・市内の婚活支援団体への助成やいきいき岩手結婚サポートセンターと連携し、情報発信に努めたが、婚活が広域化し市内で婚活を行っている人の活動エリア等のニーズと合致しなかったため、市内の婚姻数の増につながらなかった。また、婚活支援団体のフォローなどの活動ニーズがなかったことから、はなまき婚シェルの活動展開には至らなかった。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

<ul style="list-style-type: none"> (1)地域づくり活動への参加促進に向けた意識づくり <ul style="list-style-type: none"> ・中間支援組織等によるコミュニティ会議へのサポート ・地域自治推進委員会及び地域協議会の開催 ・市民憲章推進協議会への活動支援及び全国大会佐倉大会への派遣事業支援 (2)身近な地域コミュニティの活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・振興センターの安全確保・利便性を図るための改修等を実施（花巻中央振興センター耐震補強工事の実施等） ・各行政区に対する地区運営交付金の交付 ・自治総合センター実施のコミュニティ助成事業活用による支援 ・在京人会への運営支援 ・自治公民館改修等への支援 (3)定住・交流の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンクの運用や移住に対する支援情報の専用HPによる発信 ・移住先として認知してもらうため「まきまき花巻」による情報発信 ・子育て世帯の定住促進を図るため、対象区域での住宅取得に対して奨励金を交付 ・県外からのU・I・Jターン希望者等が住宅を取得又は賃貸した場合の経費の一部を補助 ・移住者懇談会や移住体験ツアーの開催

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	数値区分	H28	H29	H30	H31	R02	R03
振興センター利用人数	地域活動の拠点施設としている振興センターをどれぐらいの人が利用し、活動したかを測る指標として設定する。地域づくりの拠点施設である振興センターを利用して、個性あふれる活動が活発に行われていることを示す指標。	27振興センターの利用人数を集計する。	千人	目標値		300.00	300.00	300.00		
				実績値		239.00	266.00	225.00		
国・県・市の制度を活用した移住者数	移住の定義はあいまいであり、必ずしも転入者=移住者とは限らない。市として総合戦略を策定し、KPIとして同様の数値を掲げていることから新たに成果指標とするもの。	市定住推進課が把握する地域おこし協力隊定住促進住宅取得補助金、空き家バンク、市農政課が把握する新規就農者支援補助金、市商工労働課が把握するU・I・Jターン者就業奨励金、市建築住宅課が把握する定住促進住宅の制度支援を受けて移住した者の合計値	人	目標値		20.00	20.00	20.00		
				実績値		48.00	72.00	146.00		
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	<p>成果指標「振興センター利用人数」・・・【達成度c】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本施策における成果指標である「振興センター利用人数」は、振興センターをコミュニティ地区における「地域づくりの拠点」として位置付けていることから多くの人に利用されることを目指しているものであるが、令和元年度においては、前年度より15%程度下回り4万1千人弱減少した。これは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月2日から休館したことにより2万8千人程減少したほか、2月までの利用についても15の振興センターにおいて利用者数が減少しているものであり、前年度に開催されたイベントが開催されなかったことや通常の利用も減少したことが要因と言える。今後、コロナ感染症対策を講じていく中で利用者数の減少は避けられないと考えている。 <p>成果指標「国・県・市の制度を活用した移住者数」・・・【達成度a】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専任の移住相談支援員の配置による相談窓口の充実や、移住定住情報や子育て情報に特化した情報サイトの充実により、移住意向者のニーズに合った情報提供が行われていることが、移住者数の増加に反映されていると考えられる。

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし
<p>施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（振興センター等整備事業）地域活動の拠点である振興センターの長寿命化を図るため、必要な整備を計画的に行っていく必要がある。 ・（シティプロモーション推進事業）シティプロモーション活動については、情報発信サイト「まきまき花巻」の内容の充実が必要である。 ・（地域おこし促進事業）地域おこし協力隊の新規募集にあたっては地域課題から予想される隊員の活動テーマの設定が重要になっている。 ・（婚活支援団体育成事業）婚活の広域化に伴い、関係団体・法人と連携した情報発信が重要になっている。 ・（市民憲章推進事業）市民憲章運動推進大会に多くの市民の参加を求めてきたが、コロナ禍における大会の在り方を考えていく必要がある。 ・（コミュニティ助成事業推進事業）自治会等によるコミュニティ活動を推進するため、助成事業の推奨を引き続き行っていく必要がある。
<p>新たに取り組むべき事業はないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（振興センター等整備事業）振興センターの長寿命化を図るため、公共施設マネジメント計画に基づき、整備を進める。

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の拠点である振興センターの老朽化が進んでいることから、長寿命化を図るため、適切な改修を進めていく必要がある。 ・地域が提示する活動テーマと地域おこし協力隊本人がもつ活動テーマのイメージギャップの解消と将来を見据えた活動テーマの設定が重要になっている。 ・婚活支援については、市民のみを対象とした事業では限界があることから、広域的な活動支援をする必要がある。 ・コロナ禍の中で大規模な市民憲章推進大会の開催は困難であることから、大会以外の取り組みなどによる意識啓発が重要となってくる。 ・コミュニティ助成事業によるコミュニティ活動への効果は大きいことから、助成事業の推奨が重要となってくる。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の拠点である振興センターについて、公共施設マネジメント計画に基づき、適切な施設管理を行っていく。 ・地域おこし協力隊の計画的な募集を行うため、協力隊の活動テーマとなる地域課題や活動する地域との情報共有を図り、協力隊希望者が活動しやすい活動テーマの設定を図り募集活動を行う。 ・岩手県内を活動対象とする「いきいき岩手結婚サポートセンター」等と連携し、婚活を行っている人の活動エリア等のニーズに合致した情報発信をするなど、広域的活動の支援を進める。 ・コロナ禍により大規模な市民憲章推進大会の開催は困難であるものの、市民憲章推進協議会が行う啓発活動を引き続き支援するとともに、その活動を広く市民に周知を行っていくことなどにより意識啓発を図っていく。 ・コミュニティ助成事業への申請を促すために自治会等に制度の周知を図るとともに継続申請の推奨などの申請支援を行っていく。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		成果
	事業内容(活動実績)		対象	意図	
			直結度		
010	自治公民館整備事業費	地域づくり	一致	直結	B
	自治公民館改修等への支援 (補助金交付件数 19件)				
			A		
020	振興センター等整備事業費	地域づくり	一致	直結	C
	建物調査・保全計画書作成業務(矢沢)、内部仕上材石綿含有調査業務(花西)、解体工事実施設計業務(花西)、耐震補強工事実施設計業務(花巻中央)、耐震補強工事監理業務(花巻中央)、耐震補強工事(花巻中央)				
			A		
030	在京人会運営補助事業費	地域づくり	間接・少数	間接・補完	-
	在京花巻人会、在京大迫人会、在京石鳥谷町人会、在京花巻市東和町友会、在京花巻ふるさと会への運営補助 (総会・つどいの開催 4回、広報誌発行 5回)				
			C		
040	移住・定住促進等対策事業費	定住推進	一致	直結	B
	空き家バンクの運用、移住に関する支援情報の専用HPによる発信、首都圏でのPR活動の実施 (空き家バンク登録数 228件、成約数 108件/首都圏でのフェア等出展回数 7回)				
			A		
050	地域おこし促進事業費	定住推進	一致	間接・補完	C
	地域おこし協力隊員の募集と着任後のサポート、任期終了後の定住に向けた支援の実施 (着任延べ隊員数 18人、うち年度末現在隊員数 7人、うち年度内着任隊員数 1人)				
			B		
060	婚活支援団体育成事業費	定住推進	一致	間接・補完	C
	市内で活動する婚活支援団体が行う取り組みにより成立した婚姻件数に応じた助成金を交付 (交付件数 3件、交付金額 90,000円)				
			B		
070	シティプロモーション推進事業費	定住推進	一致	直結	A
	情報サイト「まきまき花巻」による情報発信、市民と連携した情報発信を行うための市民参加型ワークショップ (ワークショップ開催回数 3回、参加者数 30人)				
			A		
071	シティプロモーション推進事業費	定住推進	一致	間接・補完	A
	プロモーションイベントの開催 (開催回数 1回、参加者数 27人)				
			B		
080	地域協議会・地域自治推進委員会運営事業費	地域づくり	間接・少数	直結	-
	花巻地域は地域自治推進委員会、大迫・石鳥谷・東和地域は地域協議会を開催 (花巻 1回、大迫 3回、石鳥谷 2回、東和 2回)				
			B		
090	地区行政推進事業費	地域づくり	一致	直結	-
	区長業務報酬、広報等配布業務委託、地区行政運営支援、区長業務及び区長会支援 (区長 223名、研修会 3回、広報等印刷物配布回数 23回)				
			A		
100	市民憲章推進事業費	地域づくり	一致	間接・補完	C
	市民憲章推進協議会活動支援及び全国大会佐倉大会派遣事業支援 (市民憲章推進協議会会員数 217人、推進大会参加者 172人 全国大会参加者 19人)				
			B		
110	コミュニティ助成事業推進事業費	地域づくり	一致	直結	C
	(一財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業活用による支援 (申請団体 6団体、採択団体 1団体)				
			A		
120	定住促進事業費	定住推進	一致	直結	B
	子育て世帯や空き家バンク利用者が県外から転入し、住宅を所得・賃貸した場合の経費の一部を補助 (定住促進住宅取得等補助金 18件、20,970千円、子育て世帯住宅取得奨励金 112件、34,000千円)				
			A		
130	地域づくり活動支援事業費(再掲4-1-2)	地域支援室	一致	直結	B
	中間支援組織等によるコミュニティ会議へのサポート (中間支援組織 2団体、コミュニティ会議 4地区)				
			A		